令和　8年　10月　5日

瀬戸内市議会議長
　　小野田　光　　様

瀬戸内市議会議員　厚東　晃央

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期　間	令和　8年　8月　22日　～　令和　8年　8月　24日
研修会名	第58回全国保育団体合同研究集会 in 兵庫
開催場所	ワールド記念ホール・神戸学院大学
研修目的・内容	（22日）保育・子育てフォーラム 子どもたちと一緒に安心して生きられる社会を 講師3名のリレー講演。保育士からの実践発表。 1、私たちの社会と保育を取り巻く環境　小尾晴美氏(中央大学) ・保育士不足、そもそも保育士のなり手が不足している現状 ・社会で起こっている環境とケア現場の環境があっていない現状 ・社会の変化　共働きが主流であること ・子どもの生活を支えるのが保育園開園時間の長時間化などの現状 ・保育の質を守る子どものことを語り合える環境を作ることが必要 2、身体と心でつながる関係づくり―孤立しない保育・子育て 五十嵐元子氏(白梅学園大学) ・思い通りにならないと身体はどうなるか考えてみることが大事 ・電車など1から2分の遅れで謝罪が入るようになった社会 ・保育、子育てのままならなさがある社会 ・張り詰めた心が緩むことが大事と感じることの必要性 ・誰かと共有することで体も緩むこと、ここにいていいと感じることが大事を実感することが今の社会に必要 ・笑いあい、支えあう大人の関係の中で子どもは育つという事実 3、平和な世界を築くために―保育園の豊かな役割 ・平和を望まない人は誰もいない

瀬戸内市議会事務局
受
8.10.-5
付
138

	・戦争によって平和を守ることは絶対できない ・人間らしい感情を育てるのが今の保育 ・意見は一致しなくてもよいと考える ・生活する中で平和の種を育てることが大事 （23 日）特別分化会・災害と保育所の役割 ・阪神淡路大震災を通じて子どもの成長を守ることが保育 ・被災した人はまさか自分のところで起こると思っていないのに起きてしまうのが災害 ・保育現場において子どもを守らなければいけない任務 ・２名の方から報告①阪神淡路大震災時保育士、保育再開に苦労　等 ②災害時の乳児に対する栄養確保策の視点 ○大事な３点 ・日頃の保育生活の見直しが必要→栄養確保、車生活、水確保 ・いつでもどこでも災害が起こる時代 ・子どもたちの生活を支えるための課題克服→行政が政策を持つ （24 日）記念講演 私たちに戦争を止める力はあるのか 日本の現状と平和を守る憲法の役割 １、戦争ができる国に代わってしまったことを知る ・集団的自衛権容認移行加速する法整備 ・武器輸出３原則の撤廃に続き、非核三原則も骨抜きに ・平和憲法が姿を消す可能性もある ２、戦争準備がどこまで進んでいるかを知る ・南西諸島と九州の自衛隊、米軍の配置状況 ・国土強靭化「終戦能力」を高めるための動き ３、止める力があることを確認する ・憲法は「権力の暴走を監視するシステム」その機能を手放さないための動きが必要
所感	３日間、保育や子育てを中心に考える時間となった。今の保育現場の状況も知ることができた。特に特別分科会では災害時の対応や災害が起こるまでの準備や日頃の生活において災害はありえないと考える大切さなどたくさんの大切なことを学んだ。また、参加者一人一人からの意見も発言する場もあり、会場全体でしっかり学びあえたと感じた。また、日常過ごしていると忘れてしまうこともある平和についても改めて学べる時間となった。 わが市においても子どもが生活をし、保育現場はある。災害時の保育現場での対応や備蓄品など調査し、不足があるなら求める必要があると感じた。